

■事業概要・目的

上ノ代沢3は地形が急峻かつ流域荒廃が進行した土石流危険渓流である。保全区域内には、人家51戸、避難所、県道および市道が存在する。このため、豪雨時に予想される土石流から人命と財産を保全するため、砂防えん堤を整備するものである。

- 主たる保全対象 人家51戸、避難所1箇所、県道170m、市道2,500m
- 工事概要 砂防えん堤1基

■位置図



■航空写真



■保全対象施設

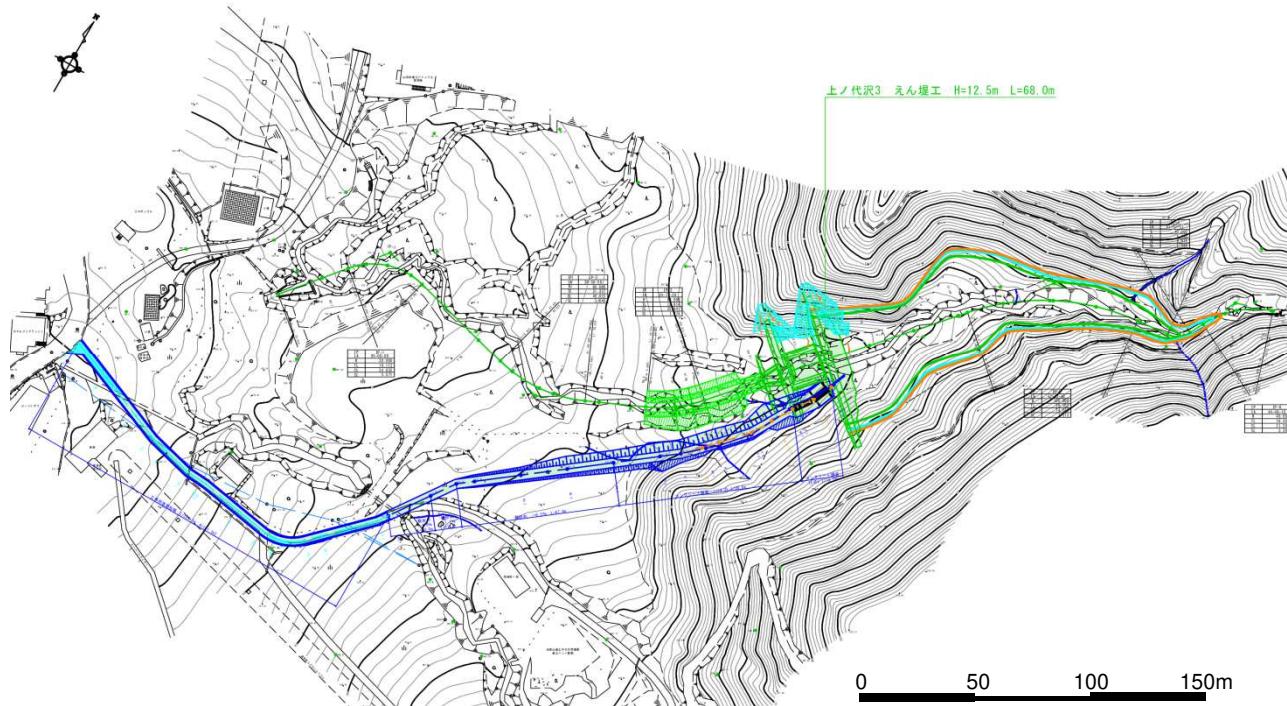


避難所(蔵王体育館)

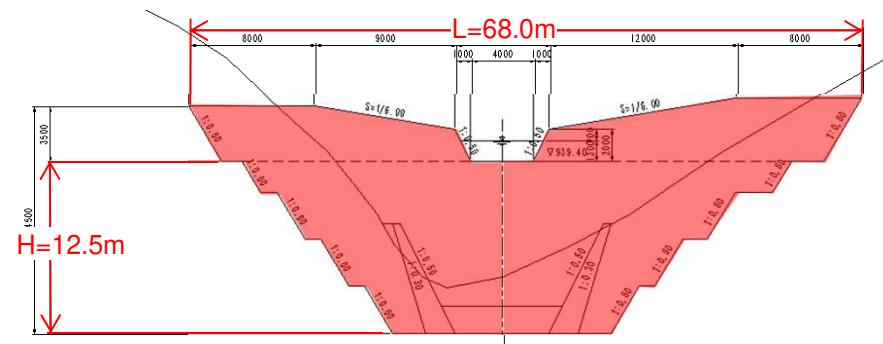


バスターミナル

■平面図



■計画図



■荒廃状況（H27.9月頃）



■えん堤付近（H29.9月頃）



■整備率

整備率(%) = $\frac{\text{施設効果量}}{\text{流出するおそれのある土砂量}}$	
● 流出する恐れのある土砂量:	5,090m <sup>3</sup>
● 施設効果量(砂防えん堤工):	5,090m <sup>3</sup>
整備前	0(%)
▶ 現況	0(%) = 0m <sup>3</sup> /5,090m <sup>3</sup>
整備後	100(%) = 5,090m <sup>3</sup> /5,090m <sup>3</sup>